

大風揚げ

2月19日、世界遺産登録5周年を記念して、長島地区内のほ場で愛知県幸田町の三州須美区凧の会による大風揚げが行われました。

雪が降る中、同会のメンバーによる巧みな手さばきで武蔵坊弁慶が描かれた大凧が上空150mまで舞い上がると、会場に訪れた約600人の見物客から歓声が上がりました。また会場ではビニール製の凧も配られ、親子で凧揚げを楽しむ姿も見られました。

平泉町と幸田町は、両町に工場を置く自動車部品メーカーのフタバ産業関連工場が立地していることが縁で2012年に「災害時における相互応援に関する協定」を締結し、交流を深めています。



素早く大凧を組み立てるメンバーたち



子どもたちは凧揚げに夢中



雪空に舞い上がる約16畳、重さ23kg余りの弁慶の大凧



雪が降る中、笑顔を見せていた



凧揚げを楽しむ参加者



風が強く、ビニール凧も空高く上がった



舞い上がる大凧を見守る大勢の見物客ら



上空150mまで舞い上がった弁慶の大凧

【特集】

平泉春の桜景色

そうだ、桜を見に行こう

2月が過ぎ、長く厳しい冬が終わりを告げ、暖かな日差しが降り注ぐ春が間もなくやってきます。その春を美しく鮮やかに彩る「桜」。桜は今も昔も日本人の心の花として愛され続けています。

今月号では町内の桜の名所を紹介しますので、桜が咲く時期になったら出掛けてみてはいかがでしょうか。



写真：県道三日町瀬原線の桜並木(2016年4月15日撮影)

voice



杉浦 忠幸
三州須美区凧の会 会長

最高の出来栄えの大風揚げ

雪の中で大凧を揚げるは初めて。幸田町から平泉町まで約800mも離れた場所から来たので、何が何でも揚げなければと頑張りました。

弁慶が天高く空を舞う姿を平泉の皆さんに見せられて良かったです。最高の出来栄えとなりました。